



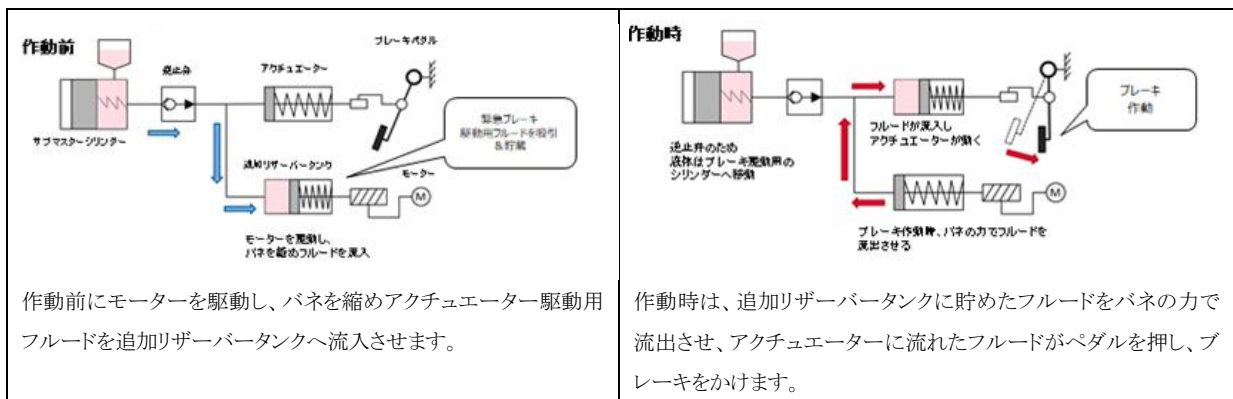
レベル4対応自動運転用緊急ブレーキ受注開始

- 特許申請中、自動運転レベル4実用事例あり —
- 自動運転車両 RoboCar[®]シリーズに後付け可能 —

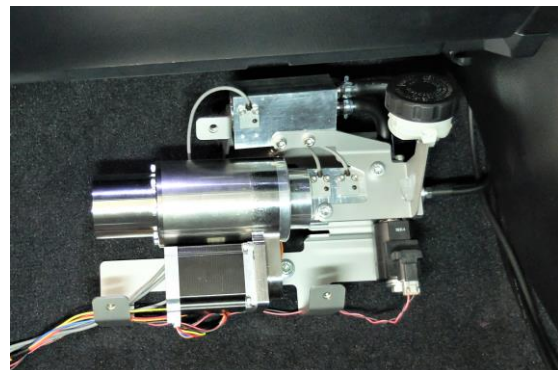
株式会社 ZMP(東京都文京区、代表取締役社長:谷口 恒、以下 ZMP)は、ADAS や自動運転の実験中にドライバーが運転席に乗車しておらず、システムや電源トラブルが発生した場合であっても、危険防止のため車両に緊急ブレーキをかけることが可能なエマージェンシーブレーキの受注を開始します。

ZMP は、自動運転レベル3または4の自動運転サービス開発を行う中で、ドライバーが運転席に乘車している場合にはブレーキを使用すれば危険を回避できるところ、特に自動運転レベル4以上の完全自動運転を行っているときに不慮の電源断などにより自動運転システムにトラブルがあっても、ブレーキを駆動できる仕組みをつくりました。今後、ZMP で販売する自動運転車 RoboCar[®]シリーズでは標準装備として安全性を向上させるほか、すでに運用している自動運転車 RoboCar[®]シリーズには後付けで搭載することができま

す。エマージェンシーブレーキ後付けタイプは、既存の油圧式車両ブレーキシステムとは別系統のシステムを追加します。ブレーキペダルを駆動するためのアクチュエーターを装備し、作動時には機械的にペダルを動かして車両を止める機構です。



エマージェンシーブレーキ(後付けタイプ)設置例



エマージェンシーブレーキ(後付けタイプ) 本体外観

エマージェンシーブレーキは、既存の油圧式車両ブレーキシステムのマスターシリンダ(MC)からESP/ABS までのブレーキ油圧経路の間に組込むことも可能です。組込タイプの場合、ZMP は、実験車両への導入から共同研究のできるパートナーを募集しております。



【仕様】

フルブレーキ時間	0.3 秒 (人間ドライバーの場合、約 0.15 秒)
消費電力(待機時)	10W

【価格】

エマージェンシーブレーキ(後付けタイプ)・・・RoboCar®シリーズへの後付けの場合、800 万円～

【本件に関するお問合せ】

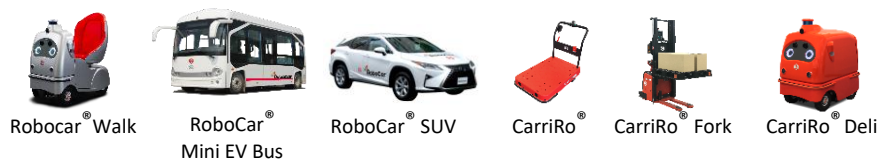
株式会社 ZMP ロボリユーション事業部 TEL: 03-5844-6210 E-Mail: info@zmp.co.jp

【株式会社 ZMP】

<http://www.zmp.co.jp/>

本社：東京都文京区

代表取締役社長：谷口 恒



「Robot of Everything ヒトとモノの移動を自由にし、楽しく便利なライフスタイルを創造する」というミッションのもと、① RoboCar®&センサーイノベーションは人の移動を担う RoboCar®シリーズと RoboVision®他各種センサー、②CarriRo®クリエーションはモノの移動を担う物流支援ロボット CarriRo®、無人フォークリフト CarriRo® Fork および宅配ロボット CarriRo® Deli、③IZAC®レボリユーションは、自律移動技術でお客様の事業へ革新をもたらすサービス、④RoboTest®ソリューションは、走行テスト・データ取得および解析サービスを提供いたします。2020 年の人とモノの移動の無人運転化レベル 4 の実現に向け実証実験を重ねています。日本初の歩道走行を目指す CarriRo® Deli、Robocar® Walk は、量産化へ向けた事業パートナーの募集を開始しております。ZMP はこれからも世の中に感動を与える製品やサービスを提供してまいります。